

編集後記

平成19年度は当センターのメンバーが大きく変わりました。

まず理工学研究科生命科学部門生体制御学領域から井上金治教授をセンター長にお迎えし、機器分野をはじめとするセンターの運営に尽力されてきた黒川秀樹准教授、齋藤英樹講師の両先生に代わって理工学研究科物質機能領域の青木良夫准教授、理工学研究科物質基礎領域の藤原隆司准教授が着任致しました。さらに応用化学科から三田技師、徳永技師が併任から専任の技術系職員として当センターの管理・運営に携わることとなりました。また、これまで専任であった設楽技師は応用化学科に併任の形で転出しました。これまで同様、機器の運営管理に参加していただいております。

生命科学分析分野にはH19年度概算設備の生体高分子・合成高分子解析システムが導入され昭和62年から愛用されたガスクロマトグラフ質量分析装置(DX303)と入れ替わりました。この生体高分子・合成高分子解析システムは、生命系の高分子物質から化学物質まで幅広く使用できるものです。

環境分析分野の奥墨主任技師は定年となりましたが引き続き非常勤職員として学内の環境分析分野に携わり、後進の指導などにあたってくださいています。

このように大きく顔ぶれは変わりましたが、前任のスタッフの皆様が築かれた教育・研究環境をさらに発展し、より良いものにすべく、新スタッフ一同力をあわせて参る所存ですので、関係の方々の一層のご支援・ご協力の程お願い申し上げます。

最後になりましたがお忙しいところを快く原稿をお寄せいただきました執筆者の皆様方には、この場をお借りして御礼申し上げます。また、この機関誌の構成と編集作業は、理工学研究科博士後期課程の菅谷君、新美専門技術員の御世話になり、さらに著者及び印刷所との連絡等は、センター事務補佐員 神田さんのお世話になりました。

(文責 藤原 隆司)

MaLS FORUM

埼玉大学総合研究機構

科学分析支援センター機関誌

Vol.5 2008.1

発行者 埼玉大学 科学分析支援センター

さいたま市桜区下大久保255

URL : <http://www.mlsrc.saitama-u.ac.jp/>

TEL 048(858)3670 (ダイヤルイン)

FAX 048(858)3707

印刷所 文進堂印刷株式会社

さいたま市岩槻区仲町1-10-13